

令和5年度 第34回八幡湿原自然再生協議会議事録

令和6年3月9日（土）15時～（2時間）
広島県庁本館106会議室

【出席】

委員：中越信和、水田國康、内藤順一、佐久間智子、青木 晋、石谷正宇、上野吉雄、大田実果、上手新一、齋 陽、和田秀次、平野 正、武石俊八、内山優奈、田中英夫（関係者含む）
事務局：原田靖久、原竜也、池部七重、佐々木恵美子

1 開会

委員32名中15名出席

2 挨拶【中越会長】

全体構想の見直しや活動報告、来年度の活動計画が本日の議題となっている。引き続きよろしく
お願いしたい。

3 議題

(1) 事業報告

①八幡湿原自然再生協議会名簿

・近藤委員が高齢のため退任したい旨申し出があった。また、西中国山地自然史研究会の理事長を後任としたい（ただし理事長は上野氏で別枠で委員であるため、代理人として副理事長の足利氏を推薦する）旨の申し出があった。なお、副会長の後任については、事務局で調整する（できるだけ地元の方に就任してもらえよう、町に調整をお願いする）。

・行政区長（小笠原様）は昨年末に死去された。町に後任選出の調整をお願いする。また、公募委員の中田様は高齢のため退任の申し出があった。

・高原の自然館原氏は事務局としてメンバーに入る。

②八幡湿原地下水位観測結果

・自動水位計は、設置から10年以上を経ており、電池切れのため令和4年度に機器を更新した。令和5年度分のデータには、令和4年の夏頃からのデータが含まれている。

・自動水位計全10か所では、前回（R2）より水位が上がっている箇所が3か所、携帯式水位計7か所では、前回（R4）より水位が上がっている箇所が1か所あった。

③令和5年度の活動報告

関係委員から自然再生事業地内で実施、開催された「自然観察会」、「環境学習」、「維持管理（草刈りなど）」、「植生調査」などが幅広く実施され、次年度も引き続き計画されている。（詳細は各委員から提出された配付資料による。）

(2) 協議事項

①八幡湿原自然再生全体構想変更案について

・令和4年度の協議会后に委員からいただいた意見をもとに、再度変更案を提示した。今回は、幹線導水路や補助導水路が現在土砂の堆積により閉塞し配水されなくなっている状態になっていること、そのためへの幹線導水路や補助導水路を再掘削することが必要であることを追記している。

・文中に「マアザミ（通称）」と「キセルアザミ（標準和名）」の表記が混在している件

について、和田委員、中越会長と後日調整の上修正を行う。

- ・変更箇所については承認されたので、すみやかに変更手続きを行う。

②保全・管理部会から令和6年度活動計画案について

- ・活動計画については配付資料のとおり。塩ビ管からの水漏れが20か所程度あり、県に予算措置してほしい。また、第一取水堰周辺の木道う回路の設置（大雨の後は既存の木道が水浸しになり、通行に支障が出る）についても県にお願いしたい。
- ・協議会としては計画案を認めるので、予算のことは県と相談して進めること。

(3) その他

- ・ドローンによる空撮写真については電子データの提供も可能。
- ・普及啓発部会は実質2名であり活動が困難である。新しい委員は加入可能か。
⇒要綱上特に問題はない。退任したい委員が後継の委員を指名するという方法で、メンバーを増やしたい。

5 閉会

令和6年3月12日（火）

確認者 八幡湿原自然再生協議会 会長 中越信和
八幡湿原自然再生協議会 委員 田中英夫
(広島県環境県民局 自然環境課)

作成者 八幡湿原自然再生協議会事務局 佐々木恵美子
(広島県環境県民局 自然環境課)